

2024年度 第32回 熊本県民アマチュアゴルフ選手権大会

開催日/シニア・ミッドシニア 第一戦…10月29日(火曜日)

競技の条件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技のローカル・ルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有しすべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。
3. ラウンド中に使用する球及び、ドライバーについての規則
 - ① 競技者の使用球は、最新の公認球リストに記載されているものに限る。
 - ② 競技者のドライバーは、最新の適合ドライバーヘッドリストに記載されているものに限る。
①②の条件の違反者は競技失格とする。(JGAホームページ参照) : www.jga.or.jp
4. 悪天候による、プレーの一時中断・再開
 - ① プレーの一時中断については、ゴルフ規則 5.7 a. b. c. d. に従って処置すること。(委員会
がプレーを中断した場合・落雷の危険があると思った場合。この場合、プレーヤーは委員会
に報告しなければなりません)
ゴルフ規則 5.7 a. b. c に違反した場合は失格、
ゴルフ規則 5.7 d に違反した場合は一般の罰
 - ② 険悪な気象状況にあるため委員会の決定により、プレーが一時中止となった
場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいた時、競技者は委員会よりプレー再開
の指示が出るまでプレーを再開してはならない。
 - ③ プレーの一時中止と再開の合図について
一時中断/長いサイレン3回繰り返し (20秒鳴→2秒止→20秒鳴→2秒止→20秒鳴)
再開/短いサイレン2回繰り返し (10秒鳴→5秒止→10秒鳴)
5. ホールとホールの間での練習禁止 (ゴルフ規則 5.5)
ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。この条件の違反の罰は次のホールにて一般の罰(2打罰)。但し、そのラウンドの最終ホールの時は、競技者はそのホールで罰を受ける。
6. 2019年新ゴルフ規則の適用について
本競技に於いて 2019年新ゴルフ規則適用となるが、誤って 2018年12月31日までの規則に従い、新規則と異なった処置をしても無罰とする。
7. アウトオブバウンズの場合
本競技に於いてすべて打ち直しとする。

8. 使用ティ シニア : 青
Mシニア : 白

ローカル・ルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって表示する。
2. 修理地は、青杭または白線をもってその限界を表示する。
3. 排水溝、樹木の支柱・支線は動かさない障害物とする。
4. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は道路の一部とみなす。
5. ペナルティーエリアは赤杭をもってその限界を表示する。
6. 目的外グリーンからのプレーは救済を受けなければならない。
目的外グリーン上に球があったり、スタンスがかかる場合競技者は規則第13.1(f)を適用しなければならない。
7. ジェネラルエリアで、自分のピッチマークに球がくい込んでいる時は、その球は罰なしに拾い上げて拭いたり、球の取替える(規則に基づいて、救済を受ける場合、カート道路、修理地、水溜り、地面に食い込んだ場合)ことができる。パッティンググリーンに近づかず、しかも球の止まっていた箇所にてできるだけ近い所にドロップ(膝の高さ)する事ができる。
8. 2番ホールと11番ホール間、10番ホールと18番ホール間、11番ホールと12番ホール間、14番ホールと17番ホール間において、相互に境界を越えた場合はアウトオブバウンズとする。
9. 11番ホールにおいて、左側方の防球ネットの中や上に球があるか、または、接近している為にプレーヤーのスタンスや意図するスイングの区域の妨げになる場合は、11番ホール側に救済のニアレストポイントを決定し、1クラブレンジス(一番長いクラブ)以内で、救済のニアレストポイントよりホールに近づかず、障害を避けうる箇所にドロップしなければならない。

注意事項

1. ローカル・ルールに追加、変更のある時は、スタート前に表示して告示する。
2. 指定練習場は、パター練習場と打放し練習場とする。練習は一人30球を限度とする
3. スタート時刻5分前には、必ずスターティングホールに待機すること。
4. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあげないように注意すること。
5. GPSや距離測定機の使用は距離測定に限定し使用を認める。

競技委員長 伊藤 博文